

◆最優秀賞◆

情報化社会の付き合い方

城島小学校 六年

落合 奈々花

私たちが生きる時代では、インターネット上の情報が中心となっているデジタル時代です。例えば、生成AIのようなチャットGPTが、人間より早く事を考えて、その考えた事を人間が引用する事が、当たり前になると思いますか。

私は人間が考える事をやめてしまい、何でも生成AIに頼ってしまうのではないかと思います。すべての判断を生成AIに任せてしまうと、今まで人間が行っていた仕事がどんどん無くなってしまいます。現に、コンビニのレジ仕事や、ホテルの受付をAIがやっている会社もあるとニュースで見ました。生成AIは人間にとって大変便利ですが、突き詰めて考えていくと、人間という存在は要らないのでしょうか。

情報化社会での問題は他にもあり、その中でもインターネットのSNSのやり取りにおける誹謗中傷が最近注目を集めています。昔は手紙、ハガキ、直接会って話すなど、人と人の顔が見えるやり取りでした。今はスマートフォンの普及により、直接会わずに話す事ができます。コミュニケーションが取りやすくなった一方、最近はSNSの投稿に対して

「その意見はおかしい。」「変だ。」

匿名の人からの誹謗中傷が起こっていて、社会問題となっています。スマートフォンにより手軽になっっている事が昔に比べ多いようですが、いい事

ばかりではないと感じています。手軽で便利になっていくほどコンピュータに人間らしさを奪われる気がします。ここでのいう人間らしさとは何なのでしょうか。

私が思う人間らしさを考えてみると、お互いを思いやり、助け合い、人と人との心が触れ合う事だと思います。今の時代、スマートフォンなどで、誹謗中傷が行われているのは、便利で手軽過ぎてしまうからだとは思いますが。インターネット上で色々と自由な事が言えますが、直接会った時には自由な事は言えないはずです。もう少し、今の情報化社会について付き合い方を考えるべきです。例えば、昔からそうしていたように、人と人同士がしっかりと向き合って、お互いの事を理解し合う事が今の情報化社会に必要なのではないのでしょうか。

色々と、情報化社会の付き合い方について考えてきました。私は情報化社会で生きるという事はこれからも変わらないし、続けていく事です。人間はうまくこの社会に順応し、付き合わなければいけません。だからこそ言葉の重さについて学んでいく必要があります。言葉は人を幸せにしますが、時に伝え方によっては心を傷つける凶器にもなっています。私たちに出来る事。当たり前ですが、相手の事を考え、思いやりを持ち発言する。また相手の意見を尊重し認める事です。世の中が、お互いの事を傷つけない、自由で健全なやり取りになっていく未来に希望を持ちたいです。